

(福) ケアハウス信愛館

◆信愛館近くの山々にふと目をやると鮮やかな緑に包まれています。例年なら鳥の鳴き声にも耳をすまし、初夏の訪れを感じるのですが、今年は新型コロナウイルス関連のニュース一色で季節を感じる余裕がありません。そのような状況の中、気を引き締めつつ入居者の感染を防ぐ対策に日々追われています。現在のところ入居者の皆様は、普段と変わりなく日々



送られています。

◆四月十四日(火)ヴォーリス記念病院の五月女院長が夕食時に来館され、入居者を前にコロナウイルスについて説明、また感染を防ぐいちばんの手立てはとにかく外出しないこと、その上でマスク着用、手洗いはもちろんのこと、人との接触は距離をおくように、とアドバイスをいただきました。簡単なようでも守るのはなかなか大変です。しかし命を守るために入居者、職員共しつかり励行するつもりです。

◆四月二十三日(木)「百人一首・トランプを楽しむ会」を行いました。今回はコロナウイルスの感染を防ぐため、2階集会室で広いスペースを取り「坊主めぐり」など子供の頃から慣れ親しんだゲームだけに誰もが参加して全員で興じることが



できました。

◆四月二十五日(土)「パズル・折り紙の会」を行いました。外出ができないため室内で、個人でも楽しめるパズルをしたり、折り紙を折ったりして頭の体操にもなりました。とは言えどちらもなかなか複雑です。それだけに解けた時や、難しい折り紙作品ができた時の達成感も得られたひとときでした。

◆五月六日(水)評議員中谷哲夫様の切り絵作品が玄関ホールに飾られています。作品名は「旧ヴォーリス病院」、往年の雰囲気伝わってくる見事な作品で、訪れる人々や入居者の目を楽しませてくれます。

五月十一日(月)信愛館の車が新しくなりました。試乗ツアーで長命寺から休暇村、そして田植え中の大中を通り短い時間でしたが快晴の琵琶湖の眺めも素晴らしい、快適な乗り心地を体験しました。